

第 6 事業年度

事業計画書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東 1 条南 2 丁目 1 番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://www.sakemasu.net//>

E-mail : sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

平成30年度 基本方針-----	1
事業計画	
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業-----	2～3
(1) 親魚捕獲採卵事業	
(2) ふ化放流事業	
(3) 種苗放流手法改良調査事業	
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業-----	3
3. ふ化放流事業助成事業-----	3
4. さけます資源保護対策事業-----	3
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密漁防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
5. さけ・ますふ化放流抜本対策事業-----	4
6. 受入並びに負担事業-----	4
(1) さけ・ますふ化放流助成事業（基準事業費）	
(2) 秋さけ資源増大対策資金	
7. 施設整備5ヶ年計画（平成30年～34年）-----	5
収支予算書-----	6～9
平成30年度会費の額及び徴収方法-----	10
別表－1 平成30年度サケ人工ふ化放流計画-----	11

平成30年度 基本方針

平成29年度の当管内の秋さけ定置漁業は総体で約15億円の水揚げにとどまり、計画の40億円には遠く及ばない結果で終わりました。また漁期はじめと最盛期の2度におたる台風被害により、十分な操業ができなかったことに加えて沿岸来遊量が予想を大幅に下回ったことによるもので、漁業経営及び漁村地域経済にも大きな影響を及ぼしました。

海面の漁獲は約47万尾、1,670トンに終わり、昭和55年の水準まで落ち込みました。全道的にも秋サケ沿岸来遊量が大幅に減少しましたが、特に当管内の落ち込みが大きく、過去に経験したことのない極めて憂慮すべき事態であると認識しております。

このように、沿岸来遊量が極端に不漁だったことから、河川における親魚捕獲、種卵確保も大幅に不足することが見込まれ、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会の協力を得て定置操業の自主規制を行い、親魚確保に努めました。

今後においても資源的に極めて厳しい状況に置かれているものと認識し、資源回復に向け一層の努力をして参ります。事業運営についても必要最小限の経費で運営を行い、以下の基本方針で業務を取り進めて参ります。

1. 施設整備の推進

本年度は緊急性のある補修修繕以外は大きな整備は行わず、今後の整備についても慎重に検討し進めていく。

2. 財務運営について

29年度は沿岸漁獲が15億円台に落ち込んだことを踏まえ、本年度についても、同レベルの資源水準を想定しながら水揚げ計画を40億円から35億円へ変更し、より一層の経費圧縮を基調とした財務運営につとめる。
また、余剰が出た場合には経営安定化に向けた資金を積み立てる。

3. ふ化放流技術の向上

低迷する資源水準を向上させるため、国・道の適切な指導のもと、ふ化放流技術の向上に努めるものとする。

4. 適正な法人運営

非営利型の一般社団法人としての適正な運営に努める。

以上を基本方針として、本会の役割である健苗なサケ稚魚を生産し放流する事業の推進に努めて参りますので、会員各位の一層の御理解・御協力をお願い申し上げますとともに、関係機関の御指導・御支援のほどをよろしくお願いいたします。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

当協会の基幹事業であり、会員皆様の貴重な会費によって運営しております。さらに、この事業の円滑な運営には基準事業費の受入は不可欠で、計画の247,600千円を受け入れます。この制度のあり方を十分理解し、効率的、合理的な運営に努めて参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

この事業は、全道的に各管内増協が北海道から業務委託を受けたなかで、特別採捕の許可を受けて実施しております。本年は楽古川、幌戸川を捕獲河川に変更し、捕獲5河川及び補完4河川において期別の採卵計画に沿って種卵確保に努め、捕獲事業を実施致します。

釧路川については採卵数が計画を達成できないと予想される場合には、補完河川、非捕獲河川で種卵確保の対応を致します。

系群保全河川である十勝川では採卵数が計画を達成できないと予測される場合は、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会等を通じて網上げ等の措置を講じて頂き、河川遡上を促し親魚確保に全力を注ぎ種卵確保に努めます。

不要親魚等の売却については、例年通り帯広地方卸売市場、釧路市漁協市場、広尾漁協市場、また補完河川、非捕獲河川については最寄りの市場に上場致します。

各漁協、捕獲業務を委託している補完河川については、経費に充当するよう全額を戻します。

捕獲河川は総売却代金から諸費用を控除後、負担率の定めにより算出した金額を道増協に納付致します。

(2) ふ化放流事業（別表－1参照）

北海道が策定したふ化放流計画に基づいて、健苗な稚魚を育成し適期に放流することを目標に、万全の体制で取り進め致します。

ふ化放流事業については、一次飼育、二次飼育を含めた飼育施設と、漁港内及び海浜域の海中飼育施設において、関係機関のご指導のもと各漁協・定置部会のご支援を得て適期放流と健苗な稚魚の育成に努めます。

二次飼育の餌料については本会の対応としております。事業費に対しても助成事業として取り進めて参ります。

[平成30年度 さけ捕獲採卵・ふ化放流計画概略]

海区	地区	期別	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	収容卵数 (千粒)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数(千尾)	
エリモ 以東	東部	前期	48,700	44,720	44,720	37,440	5,300	
		中期	52,200	47,950	47,950	40,240	7,200	
		後期	20,400	18,710	18,710	15,720	0	
		計	121,300	111,380	111,380	93,400	12,500	
	西部	前期	58,900	54,050	54,050	45,280	0	
		中期	71,200	65,420	65,420	55,150	3,000	
		後期	20,700	18,980	18,980	16,070	0	
		計	150,800	138,450	138,450	116,500	3,000	
	合計			272,100	249,830	249,830	209,900	15,500

(3) 種苗放流手法改良調査事業

地域に適したより効果的な放流手法を検討するため、稚魚放流の時期や体サイズを変えるなど、様々な条件設定をした試験放流を実施します。

補助対象尾数 (千尾)	単価 (円)	調査稚魚売却収入 (千円)	施標業務受託収入 (千円)
3,360	3.4	11,424	1,280

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

本年度について施設整備は行わず緊急を要する補修修繕のみ行っていきます。

3. ふ化放流事業助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して応分の助成を致します。

釧路地区

(千円)

幌 戸	太 田	チョロベツ	庶 路	茶 路	音 別	小 計
8,300	3,500	5,900	930	9,400	3,000	31,030

十勝地区

更 生	小紋別第1	小紋別第2	大 樹	小 計	合計
5,300	1,300	1,400	850	8,850	39,880

4. さけ・ます資源保護対策事業

(1) 試験調査事業

国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所（以下「北水研」）が行う、エリモ以東海区の幼稚魚河川分布調査及び、北海道が行う回帰資源の高位安定と効率事業推進のための各種試験及び調査の実施に積極的に協力致します。

(2) 教育研修事業

北水研、地方独立行政法人北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場（以下「内水試」）、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。また、作業の効率を図るため、必要な作業免許の取得を行います。

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査、及び汚濁防止のための監視活動、水質保全のための水質調査、開発建設部並びに北海道建設管理部が行う河川工事について、引続き関係機関との協力体制のもとに実施致します。

5. さけ・ますふ化放流抜本対策事業

回帰率向上調査事業、太平洋サケ資源回復調査事業の後継事業としての新事業を本年度から実施します。水産庁主体で北水研・内水試・道増協・釧定協と連携し、稚魚モニタリング調査、放流後の動態調査などを行います。

(千円)

事業名	委託主体	委託金額
平成30年度さけ・ますふ化放流抜本対策事業	水産庁	12,500

6. 受入並びに負担事業

(1) さけ・ますふ化放流助成事業（基準事業費）

道増協が実施する増殖事業支援事業制度について事業費負担をし、さけ・ます稚魚飼育放流事業に対して助成金（基準事業費）を受け入れます。

なお、基準事業費については全道の各管内増協が漁獲金額に応じて負担する12億円を原資として、各管内増協が実施している稚魚放流数を基礎として算出されます。

(千円)

事業名	事業主体	金額
さけ・ますふ化放流助成事業（基準事業費）	道増協	247,600

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本協会が実施する増殖施設整備事業に充当する目的のエリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの寄付金について、適正に管理運用致します。

7. 施設整備5ヶ年計画

(千円)

年度	内 訳				費用
	新 設	大規模修繕	中規模修繕	ローカルその他	
29 (実績)			芦別第二 27,700		27,700
30					施設整備無し
31		幕別ふ化場 68,700			68,700
32		標茶ふ化場 46,500 更別第二ふ化場 11,000 釧路川捕獲場 11,000	更別第一ふ化場 4,300	太田飼育場 11,000	83,800
33				幌戸捕獲場 5,500 音別ふ化場 6,600	12,100
34	釧路地区 110,000	美留和ふ化場 11,000 釧路捕獲場 33,000	オソツベツふ化場 7,700 標茶ふ化場 7,700 芦別ふ化場 3,300 更別第二ふ化場 5,500	藻散布捕獲場 15,400 中知安別 38,500	232,100
費用合計	110,000	181,200	28,500	77,000	396,700

※費用合計は5カ年分

収 支 予 算 書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単価:千円)

科 目	平成30年予算額	平成29年予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	10	10	0
特定資産受取利息	10	10	0
受取会費	301,900	343,900	△ 42,000
正会員受取会費	400	400	0
漁獲高割受取会費	249,000	283,500	△ 34,500
施設整備積立会費	52,500	60,000	△ 7,500
事業収益	115,204	150,151	△ 34,947
親魚捕獲採卵事業収益	87,000	120,000	△ 33,000
補完河川親魚捕獲採卵事業収益	3,000	3,000	0
業務受託収益	25,204	27,151	△ 1,947
施標業務受託収入	(1,280)	(1,321)	(△41)
種苗放流手法改良調査事業収入	(11,424)	(17,340)	(△5,916)
道委託収入	(0)	(0)	(0)
ふ化放流抜本対策事業受託収入	(12,500)	(8,490)	(4,010)
受取補助金等	276,700	277,435	△ 735
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取地方公共団体補助金振替額	27,169	27,640	△ 471
受取道増協助成金	249,531	249,795	△ 264
道増協基準事業費収入	(247,600)	(247,600)	(0)
道増協助成金収入	(0)	(0)	(0)
道増協利息助成金収入	(0)	(0)	(0)
道増協助成金振替額	(1,931)	(2,195)	(△264)
雑収益	1,310	1,660	△ 350
受取利息	10	10	0
職員住宅料収入	400	650	△ 250
雑収益	900	1,000	△ 100
経常収益 計	695,124	773,156	△ 78,032

科 目	平成30年予算額	平成29年予算額	増 減
(2) 經常費用			
① 事業費	611,646	709,862	△ 98,216
役員報酬	3,600	3,600	0
給料手当	72,000	73,500	△ 1,500
給料手当(管)	1,560	1,544	16
臨時雇賃金	71,000	87,000	△ 16,000
役員退任慰勞給付費用	450	450	0
退職給付費用	8,116	7,149	967
退職給付費用(管)	79	81	△ 2
法定福利費	18,800	21,500	△ 2,700
法定福利費(管)	975	975	0
福利厚生費	3,600	5,000	△ 1,400
会議費	400	450	△ 50
旅費交通費	2,700	3,000	△ 300
通信運搬費	2,500	2,500	0
減価償却費	139,074	150,313	△ 11,239
備品費	1,000	3,500	△ 2,500
消耗費	17,000	22,000	△ 5,000
餌料費	30,000	40,000	△ 10,000
施設費	500	2,000	△ 1,500
施設調査費	500	3,000	△ 2,500
補修修繕費	20,000	28,000	△ 8,000
燃料費	15,000	16,500	△ 1,500
光熱水料費	5,500	6,000	△ 500
動力費	84,000	90,000	△ 6,000
賃借料	18,000	28,000	△ 10,000
車輛費	23,000	35,000	△ 12,000
親魚販売諸費	4,200	8,400	△ 4,200
公租公課	7,000	7,000	0
支払負担金	51,092	53,400	△ 2,308
ふ化放流事業負担金	(39,880)	(41,180)	(△1,300)
捕獲事業負担金	(3,000)	(3,000)	(0)
種苗放流手法改良調査事業負担金	(5,712)	(6,720)	(△1,008)
道増協増殖施設等助成事業負担金	(2,500)	(2,500)	(0)
委託費	4,000	4,000	0
雑費	6,000	6,000	0

科 目	平成30年予算額	平成29年予算額	増 減
②管理費	141,892	152,712	△ 10,820
役員報酬	2,400	2,400	0
給料手当	8,440	8,956	△ 516
役員退任慰勞給付費用	300	300	0
退職給付費用	851	557	294
法定福利費	1,425	1,525	△ 100
福利厚生費	500	500	0
会議費	1,000	1,250	△ 250
旅費交通費	4,000	4,300	△ 300
通信運搬費	600	800	△ 200
減価償却費	940	940	0
備品費	100	200	△ 100
消耗品費	506	600	△ 94
図書購入費	90	100	△ 10
修繕費	800	1,000	△ 200
印刷製本費	150	180	△ 30
燃料費	600	700	△ 100
光熱水料費	650	500	150
車輛費	800	800	0
賃借料	2,000	2,800	△ 800
広告宣伝費	130	130	0
保険料	4,000	5,000	△ 1,000
租税公課	4,000	8,000	△ 4,000
支払負担金	104,110	108,674	△ 4,564
道増協漁獲高割負担金支出	(100,000)	(100,000)	(0)
増殖施設有償貸付負担金支出	(250)	(300)	(△50)
親魚売却負担金支出	(3,000)	(7,700)	(△4,700)
全国組織負担金	(840)	(644)	(196)
負担金支出	(20)	(30)	(△10)
支払利息	1,580	500	1,080
支払利息支出(短期運営資金)	(1,500)	(500)	(1,000)
支払利息支出(長期運営資金)	(80)	(0)	(80)
交際費	500	500	0
雑費	1,420	1,500	△ 80
經常費用 計	753,538	862,574	△ 109,036
当期經常増減額	△ 58,414	△ 89,418	31,004

科 目	平成30年予算額	平成29年予算額	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 58,414	△ 89,418	31,004
一般正味財産期首残高	1,597,973	1,687,391	△ 89,418
一般正味財産期末残高	1,539,559	1,597,973	△ 58,414
II 指定正味財産増減の部			
①受取補助金等	0	0	0
②一般正味財産への振替額	△ 29,100	△ 29,835	735
地方公共団体補助金振替額	△ 27,169	△ 27,640	471
道増協助成金振替額	△ 1,931	△ 2,195	264
当期指定正味財産増減額	△ 29,100	△ 29,835	735
指定正味財産期首残高	238,643	268,478	△ 29,835
指定正味財産期末残高	209,543	238,643	△ 29,100
III 正味財産期末残高	1,749,102	1,836,616	△ 87,514

平成30年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10漁業協同組合及び10市町村の会員に対して2万円の負担をお願い致します。

(2) 春さけ定置漁業会費

漁獲金額（消費税控除後）の2.0%とする。

会費は8月31日までに納入願います。

(3) 秋さけ定置漁業会員会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の6.9%とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.5%を施設整備のための積立とする。

(4) 特別採捕事業負担金（小定置）

① 漁獲金額（消費税控除後）の3.0%とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.5%を施設整備のための積立とする。

(5) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会するものは2万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、毎月10日までに納入願います。

別表-1

平成30年度サケ人工ふ化放流計画:全体(案)

(一社)十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

海区	地区	振興局	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考		
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)					
えりも 以東	東部	根室	幌戸	2,800	2,600							芦別	500	◎昆布盛	500			
												芦別	500	◎三里浜	500			
		釧路	(藻散布)	芦別	1,900	幌戸	3,700							オソツベツ	1,800	◎霧多布港湾沖	3,000	
				オソツベツ	1,300													
			(別寒辺牛)	標茶	1,700	新川	800								オソツベツ	800	◎藻散布港湾	1,000
				標茶	2,000													
				オソツベツ	1,000													
				美留和	500													
			釧路	美留和	オソツベツ	500	別寒辺牛	2,800							美留和	2,820	◎厚岸漁港	5,000
					オソツベツ	980												
	釧路	美留和	オソツベツ	2,000	◎厚岸漁港	5,000							美留和	3,000	◎老者舞漁港	1,000		
			オソツベツ	2,000														
	釧路	美留和	標茶	1,000	◎老者舞漁港	1,000							オソツベツ	2,000	◎昆布森漁港	1,000		
			標茶	1,000														
	釧路	美留和	オソツベツ	2,000	◎昆布森漁港	1,000							オソツベツ	2,000	釧路	54,800		
			標茶	1,000														
	釧路	美留和	美留和	4,600	庶路	4,600							美留和	4,600	茶路	8,200		
			茶路	8,200														
	地区計			121,300	111,380	0	0	11,000			111,380	93,400		30,400		93,400		
	西部	十勝	釧路	音別						音別	10,720	9,000			音別	9,000		
幕別																		1,500
幕別 千代田		(歴舟)	札内	3,000	◎厚内漁港	3,000									十勝	60,500		
			更別第1	17,900														
		(小紋別)	幕別	28,330	十勝	60,500												
			札内	28,810														
		楽古 広尾	楽古	更別第1	1,700	当縁	1,700											
				幕別	1,800													
		楽古	楽古	更別第1	1,370	歴舟	8,100											
				更生	5,960													
楽古	楽古	小紋別	2,940	小紋別	6,900													
		小紋別	2,470															
楽古	楽古	幕別	2,000	小紋別	6,900													
		更別第1	2,430															
楽古	楽古	広尾	3,000	豊似	3,000													
		広尾	3,400															
楽古	楽古	広尾	17,400	音調津	2,000													
		音調津	2,000															
地区計			150,800	138,450	0	0	17,900			138,450	116,500		22,200		116,500			
海区計			272,100	249,830	0	0	28,900			249,830	209,900		52,600		209,900			

※北海道水産研究所

稚魚生産率90%、捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,300粒
係数1.089 * 収容卵数 = 捕獲尾数

◎は海中飼育

平成30年度ベニザケ人工ふ化放流計画(稚魚生産)

海区	地区	支庁	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		センターへの 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
		釧路	釧路	※1	60			60	※2	60	50			釧路	50	
地区計				60	60			60		60	50				50	
海区計				60	60			60		60	50				50	

※1 捕獲数策定指標 ♀比55% ♀使用率75% 1尾当平均採卵数2,100千粒

※2 ふ化場、幼魚生産場の※は北海道水産研究所